

令和8年度 社会保障関連予算のポイント

～「誰一人取り残さない 地域共生社会の実現」を目指して～

包括的な 支援体制 の整備

▶ 様々な福祉の課題を抱える市民を受け止め、その人の状況に合わせた支援が受けられる仕組みづくりを推進

▶ 地域の多様な主体がそれぞれの役割や機能を生かしつつ、支え合う地域づくりを推進

・コミュニティソーシャルワーカーの配置【**拡**】

・地域共生社会に係る啓発及び連携の強化【**新**】

・孤独・孤立対策の推進【**新**】

・「福祉まるごと相談窓口」を中心とした包括的な相談支援の実施

・様々な課題を抱える子どもに対する学習機会と居場所の提供

・ケアラー・ヤングケアラー支援のための啓発の実施

・ケアラーのための電話相談

その人の状況に合わせた支援に着実につなげ、支え合いの地域をつくる

社会保険

▶ 市民一人ひとりの健康を維持するため、国民健康保険・後期高齢者医療制度・介護保険の各社会保険制度を効率的かつ効果的に運用

1 国民健康保険

・特定健診及び生活習慣病予防対策の実施
・療養給付費の支出

2 後期高齢者医療制度

・後期高齢者医療の管理・徴収事務の実施
・後期高齢者医療広域連合への納付金の納付

3 介護保険

・高齢者の介護予防、生活支援のための取組
・介護サービス費等の支給

社会福祉

1 介護・高齢者福祉

▶ 市民一人ひとりが生涯現役で活躍するとともに、住み慣れた地域で健康に暮らせる環境を作ること、誰もが生き生きと長生きして暮らせる地域共生社会を実現

・介護支援専門員等への資格取得に必要な費用の補助【**新**】
・セカンドライフ充実のための支援の実施
・シルバーポイント(長寿応援ポイント)事業の実施

・認知症の高齢者等に対する総合的な支援の実施
・認知症セルフチェックツールの導入【**新**】
・後期高齢者健診及び高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
・地域包括支援センターの設置運営

・旧東楽園の解体及び跡地整備【**拡**】

・地域と連携した高齢者等の移動支援の実施【**拡**】

・全国健康福祉祭(ねんりんピック)の開催【**拡**】

2 障害者福祉

▶ 障害のあるなしにかかわらず、誰もが権利の主体としてお互いの権利を尊重し、安心して暮らしていける地域共生社会を実現

・自立支援給付等の障害福祉サービス費の支給
・障害者の地域生活を支える移動支援の実施
・障害福祉サービス従事者養成研修受講料の補助【**新**】

・ノーマライゼーションの理念の普及啓発
・心身障害者医療費の支給【**拡**】

・障害者の日中一時支援事業の実施

・障害者就労の推進

・発達障害者のための地域支援体制の強化【**拡**】

3 児童福祉

※ 児童福祉については、別途「子ども・子育て関連予算のポイント」として整理しています。詳しくは、令和8年度当初予算の概要を参照してください。

公的扶助

▶ 病気やけが、介護等により生活に困窮した市民が、自らの暮らしを支えて自立した生活を送ることができるよう、居住支援や就労支援等の必要な支援を実施

・安定した地域生活に向けた居住支援の推進

・生活困窮者の経済的自立に向けた就労支援の推進

・生活困窮者に対する生活保護費の支給

保健医療・公衆衛生

▶ 市民一人ひとりが健康に生活できるよう、疾病の予防・早期発見・治療を始めとした各種の保健衛生施策を推進

・新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施【**拡**】
・RSウイルス母子免疫ワクチンの定期予防接種を実施【**新**】

・帯状疱疹ワクチン接種費用への助成の実施

・その他予防接種事業の実施

・感染症対策の実施

・病気の早期発見・早期治療につなげる健康診査の実施

・産婦健康診査の助成回数の拡大【**拡**】

・5歳児健康診査の実施【**新**】

・産後ケア事業の拡充【**拡**】

・地域保健の拠点として保健所・保健センターの管理・運営

・重層的な救急医療体制の整備

・AEDの更なる整備・普及啓発の実施

・(仮称)さいたま市口腔保健センターの整備と障害者歯科診療の推進【**拡**】

・市立病院における医療機能の充実と経営改善の推進